

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

施設	愛川ふれあいの村
指定管理者	東急コミュニティー・国際自然大学校グループ
指定期間	H23.4.1 ～ H28.3.31
施設所管課	子ども教育支援課（ ）

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

B

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

< 1 管理運営等の状況 >

2月の大雪時には80cmを超える積雪となったが、適切に臨時休業の措置を取り、利用者の安全確保に努めた。また、主催事業「あいかわ森のようちえん」の応募者が増加する一方で、落選者が多数発生してしまうことから、落選者を対象とした事業を急遽実施するなど、きめ細かに利用者のニーズに対応していることから、B判定となった。

< 2 収支状況 >

収支状況は、良好であるため、A判定となった。

< 3 利用状況 >

ホームページや広報誌等の広報活動に積極的に取り組んだ結果、利用者数がほぼ目標値どおりとなったため、B判定となった。

< 4 利用者の満足度 >

利用者が施設を利用する都度、調査を実施したところ、上位2段階の回答割合が95.0%となったため、A判定となった。回収率は、利用者への呼びかけを積極的行った結果、86.1%となった。

< 5 苦情・要望等 >

施設の老朽化に関する要望が寄せられたが、早期に解決することが困難な内容であるため、B判定となった。

< 6 事故・不祥事等 >

事故等が発生しなかったため、B判定となった。

< 今後の方針等 >

ふれあいの村の機能を生かし、利用者が自然にふれあう体験活動を実施できるよう事業を継続するとともに、さらなる利用者の拡大に努めてもらいたい。

1 管理運営等の状況

評価

B

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

（1）事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 （指定管理業務）	安全で快適な施設の維持管理	・2月の大雪時には80cmを超える積雪となったため、利用者の安全を考慮し、臨時休所の処置をとった。利用予約団体には情報提供を適切に行い、人的物的損害の発生防止に努めた。 ・比較的用户者が少ない冬期には、職員総がかりで、宿泊棟その他施設の大掃除や修繕作業を実施した。

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	職員による活動支援の強化	・12月に開催した主催事業「ジュニアサッカーフェスティバル」では、試合だけではなく、東海大学のサッカー部員を招いてレッスンを実施したり、キャンプファイヤーを行い、チーム間の交流の場を提供することができた。
3 (指定管理業務)	利用者へのサービス向上の取り組み	・県民スポーツ週間関連事業として、10月12日～14日にディスクゴルフコースの無料開放を実施した。 ・10月12日～13日に開催した主催事業「あいかわ森のようちえん1」には募集定員40名のところ220名もの応募があったことから、救済策として落選された方を対象に「あいかわ森のようちえん12月」を追加開催することとした。急遽開催決定したにもかかわらず、37名の参加者があり、好評を得た。
4 (指定管理業務)	新規主催事業の実施と大規模支援事業の開催	・主催事業「あいかわ森のようちえん」は定員40名で2回開催する予定だったが、参加希望者が多かったため、追加で開催することとした。計3回の開催で、127人の参加者があった。今後も施設の特長を生かした企画として、発展させていきたい。 ・11月15日～17日に「森のようちえん全国交流フォーラム」が当所を会場として開催された。全国から589名もの参加があり、有意義な交流会が行われた。
5 (指定管理業務)	地域連携の強化	・愛川町内の中学生や適応指導教室の生徒の職場体験を受け入れ、職員とともに施設の業務を体験する機会を提供した。 ・神奈川県森林インストラクターの会が実施する「育林に伴う安全管理講習」等の定期講習会の開催場所を当所内で提供し、森や山と親しむ活動を特色とする施設として関連する活動実践団体との連携強化を図った。

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月8日	11月25日	○	—	○	無	
11月	12月10日	12月25日	○	—	○	無	
12月	1月10日	1月29日	○	—	○	無	
1月	2月10日	2月28日	○	—	○	無	
2月	3月10日	3月25日	○	—	○	無	
3月	4月10日	4月23日	○	—	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月 の 10 日まで

2 収支状況

評価

A

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 （参考）					0			0
年度計画	前年度	133,245	2,200	0	135,445	135,445	0	0
	上半期	66,044	1,400		67,444	67,444		0
	下半期	67,201	800		68,001	68,001		0
	今年度	133,288	2,355	0	135,643	135,643	0	0
	上半期	64,360	1,400		65,760	65,760		0
	下半期	68,928	955		69,883	69,883		0
通年実績	上半期合計	64,360	1,608	5,817	71,785	75,918		▲ 4,132
	対収支計画比	0.0%	14.9%	#DIV/0!	① 9.2%	② 15.4%	③	▲ 6.3%
	10月	11,372	108	929	12,410	9,988		2,421
	11月	10,765	404	519	11,689	10,820		869
	12月	9,965	158	918	11,042	10,911		130
	1月	11,062	52	80	11,194	10,305		888
	2月	12,365	106	17	12,489	9,748		2,740
	3月	13,399	437	538	14,374	11,648		2,726
	下半期合計	68,928	1,268	3,003	73,199	63,422	0	9,777
	対収支計画比	0.0%	32.8%	#DIV/0!	① 4.7%	② ▲ 9.2%	③	14.0%
	通年合計	133,288	2,876	8,820	144,984	139,340	0	5,644
	対収支計画比	0.0%	22.1%	#DIV/0!	① 6.9%	② 2.7%	③	4.2%
参考	前年度 下半期実績合計	67,201	1,094	4,123	72,419	68,379		4,039
	対前年度 下半期実績比				1.1%	-7.2%		

※その他収入の内容 参加者負担金

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	〔参考〕 上半期	下半期	通年	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	○	×	×	
③ 収支差額のマイナス（収支計画支出額対比）	○	×	×	

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 100万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期		
合 計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収 入	0	
	0	
	0	
	0	
支 出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等

支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等

積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価

B

(評価の目安)

今年度下半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
B : 95%以上～105%未満
C : 85%以上～ 95%未満
D : 85%未満

目標利用者数等を設定してい
ない場合、前年同期対比増減率で
A : 105%以上
B : 95%以上～105%未満
C : 85%以上～ 95%未満
D : 85%未満

入所施設等定員がある場合、定
員比で
A : 100%
B : 90%以上
C : 80%以上
D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	15,947 人	16,261 人	98.1 %
11月	14,380 人	12,995 人	110.7 %
12月	4,116 人	3,910 人	105.3 %
1月	1,884 人	1,328 人	141.9 %
2月	977 人	2,623 人	37.2 %
3月	6,831 人	6,389 人	106.9 %
合計	44,135 人	43,506 人	101.4 %

	利用者数	前年同期 利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	44,135 人	43,506 人	44,000 人	① 100.4 %	② 101.5 %
上半期計	88,167 人	89,559 人	91,000 人	① 96.9 %	② 98.5 %
合 計	132,302 人	133,065 人	135,000 人	① 98.1 %	② 99.5 %

※目標値の設定の有無

期間 設定している
基準 通年
前年度数値
その他の場合の期間
その他の場合の基準

利用状況に関する確認等

確認項目	〔参考〕 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5%（目標値対 比増減率105%以上または95% 以下）	×	×	×	
② 前年対比±5%（前年同期対 比増減率105%以上または 95%以下）	×	×	×	

<参考>

施設の最大利用可能人数

							合計
定員（1日あたり の延べ人数）	450						450
年間利用 可能日数	357						
最大人数	160,650	0	0	0	0	0	160,650
半期	80,325	0	0	0	0	0	80,325

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価

A

(評価の目安)
「満足」（４段階評価及び５段階評価の場合、上位２段階）と答えた割合が
A：80％以上
B：60％以上～80％未満
C：40％以上～60％未満
D：40％未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50％以上
－：今期は実施していない

	とても 良い	良い	普通	悪い	とても 悪い	合計	上位２段階 の割合
総合満足度の回 答結果	104	84	11	0	0	199	188 (95.0%)
〔参考〕 上半期結果	222	183	32	1	2	440	405 (93.0%)

※今年度の実施予定 上半期 回 下半期 回 その他 利用者が施設を利用する都度
※配布・回収件数 配布 251 件 回収 216 件 回収率 86.1% %
※実施方法 利用者等に配布 リストから選択 リストから選択 リストから選択

5 苦情・要望等

評価

B

(評価の目安)
A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。
B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。
C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。
D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数 下段：報告件数のうち所管 課受付分	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	216 (0)	216 (0)
〔参考〕上半期結果	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	496 (0)	496 (0)

苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備	老朽化した施設設備を改修してほしい。	使用に障害のある箇所より修繕を実施した。
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価

B

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		